



## 室蘭市

室蘭が好き。みんなで創る、住み続けたいまち  
～ まち・ひと・みなと つながりが未来を創る ～

〒051-8511 室蘭市幸町1-2 電話:0143-22-1111 FAX:0143-24-7601 URL: <https://www.city.muroran.lg.jp>

●市制施行 大正11年8月1日 ●市長 青山 剛 (~R9.4.30④)

●人口 74,107人 (R7.4現在) ●世帯数 43,054世帯 (R7.4現在) ●面積 81.01km<sup>2</sup>

- 【市名の由来】 アイヌ語の「モ・ルエラニ」から転訛したもので、「小さな坂道の下りたところ」という意味。
- 【概観・特色】 太平洋に面した港と工業の街として発展。地球岬をはじめとする多くの景勝地があり、外海ではイルカウォッチングも楽しむことができます。特に夏場は北海道内外から多くの観光客で賑わいます。
- 【マチの自慢】 製鉄・鉄鋼を始めとする「ものづくりのまち」であるとともに、外洋側には地球岬などの景勝地や、鳴り砂、ハヤブサの生息地などもあり、自然と工業が調和したまちです。近年は、室蘭やきとり、室蘭カレーラーメンに加え、インフラツーリズム「白鳥大橋主塔登頂クルーズ」なども注目を集めています。
- 【主なイベント】 港まつり(市民おどり・室蘭ねりこみ)(7月)、撮りフェス in 室蘭(9月)
- 【主な観光地】 地球岬、白鳥大橋、道の駅「カナスチールみたら室蘭」、室蘭民報みんなの水族館、イルカウォッチング、室蘭工場夜景、白鳥大橋主塔登頂クルーズ、室蘭 de 手ぶらフィッシング
- 【主な特産品】 鉄鋼製品、精密金型機械、うずらの卵、昆布、室蘭やきとり、室蘭カレーラーメン、ポルト人形「ポルタ」



## 苫小牧市 「海と空」2つの港がある産業拠点都市

〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5-6 電話:0144-32-6111 FAX:0144-32-2198 URL: <https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp>

●市制施行 昭和23年4月1日 ●市長 金澤 俊 (~R11.12.7①)

●人口 164,802 (R7.4現在) ●世帯数 91,579 (R7.4現在) ●面積 561.66km<sup>2</sup>

- 【市名の由来】 アイヌ語の「ト」(沼の意)と「マコマイ」(山奥へ入っていく川の意)から転訛したもので。
- 【概観・特色】 太平洋に面した樽前山の麓に位置。国際拠点港湾「苫小牧港」と国際空港「新千歳空港」を擁し、紙・パルプ、石油精製、自動車等、多様な産業が集積する、道内随一の工業都市として発展しています。
- 【マチの自慢】 ラムサール条約登録湿地である「ウトナイ湖」は野鳥の楽園とも言われ、バードウォッチングや自然散策、自然観察など、四季折々の自然や野鳥とのふれあいが楽しめます。また、アイスホッケーの聖地としても知られており、多くの日本代表選手を輩出しているほか、特産品である「ホッキ貝」の漁獲量は24年連続で日本一を記録しています。
- 【主なイベント】 とまこまいスケートまつり(2月)、緑ヶ丘公園まつり(5月)、苫小牧アートフェスティバル(7月)、とまこまい港まつり(8月)、たるまえサンフェスティバル(9月)、TOMAKOMAI MIRAI FEST(9月)、苫小牧漁港ホッキまつり(10月)、とまこまいコスプレフェスタ(11月)、とまこまいイルミネーション とまイルスクエア(12月~2月)
- 【主な観光地】 樽前山、オートリゾート苫小牧アルテン、ノーザンホースパーク、ウトナイ湖、ぶらっとみなと市場
- 【主な特産品】 ホッキ貝、ホッキカレー、ハスカップ製品、スモークサーモン、銘柄豚「B1とんちゃん」、純米吟醸酒「美苫(びせん)」とまこまいカレーラーメン



## 登別市 人が輝き まちがときめく ふれあい交流都市 のぼりべつ

〒059-8701 登別市中央町6丁目11 電話:0143-85-2111 FAX:0143-85-1108 URL: <https://www.city.noboribetsu.lg.jp/>

●市制施行 昭和45年8月1日 ●市長 小笠原 春一 (~R10.8.27⑤)

●人口 43,166人 (R7.4末現在) ●世帯数 23,819世帯 (R7.4末現在) ●面積 212.21km<sup>2</sup>

- 【市名の由来】 市内を貫流する登別川を「ヌブルベツ」(色の濃い川)と呼んだアイヌ語に由来する。
- 【概観・特色】 支笏洞爺国立公園の中核に位置し、登別温泉を抱える北海道有数の観光都市であるとともに、本道で最も集積が進んだ重工業地帯である室蘭工業圏の一翼として発展してきました。
- 【マチの自慢】 9種類の泉質と1日1万トンの湧出量を誇る名湯「登別温泉」や北海道で最初に国民保養温泉地に指定された「カルルス温泉」を有しているほか、北海道遺産に選定された「登別地獄谷」や近年人気の「大湯沼川天然足湯」などの自然の景勝地、3大テーマパーク(のぼりべつクマ牧場・登別伊達時代村・登別マリンパークニクス)も魅力です。
- 【主なイベント】 登別温泉湯まつり(2月)、カルルス温泉冬まつり(3月)、鬼火の路幻想と神秘の谷(通年)、地獄の谷の鬼花火(6月~7月・10月)、登別地獄まつり(8月)、登別漁港まつり(9月)
- 【主な観光地】 登別温泉、カルルス温泉、サンライバスキー場、3大テーマパーク(のぼりべつクマ牧場・登別伊達時代村・登別マリンパークニクス)
- 【主な特産品】 登別の地場産品などを活用した「登別ブランド推奨品」全31品、ご当地グルメ登別閻魔やきそば



## 伊達市 みんなが豊かさを感じられる市民幸福度最高のまち

〒052-0024 伊達市鹿島町20-1 電話:0142-23-3331 FAX:0142-23-4414 URL: <https://www.city.date.hokkaido.jp/>

●市制施行 昭和47年4月1日 ●市長 堀井 敬太 (~R9.4.30①)

●人口 30,866人 (R7.4現在) ●世帯数 17,316世帯 (R7.4現在) ●面積 444.21km<sup>2</sup>

- 【市名の由来】 仙台藩一門の亙理藩領主 伊達邦成が、家臣とともに集団移住して開拓したことにより命名されました。
- 【概観・特色】 内浦湾に面した田園都市で、温暖な気候であるため「北の湘南」と呼ばれています。飛び地になっている大滝区は、大自然の中、ノルディックウォーキングや歩くスキーが楽しめるのと、温泉が有名です。
- 【マチの自慢】 温暖な気候の伊達地域、冷涼な気候である大滝区からなる多様な地理条件を生かし、100品目200種類以上の多種多品目の野菜が生産されており、四季折々に合った彩り豊かな旬の味覚を堪能することができます。
- 【主なイベント】 春一番伊達ハーフマラソン(4月)、おおたき国際ノルディックウォーキング(6月)、だて噴火湾縄文まつり(7月)、だて噴火湾縄文まつり(8月)、伊達雪まつり冬の陣(2月)
- 【主な観光地】 有珠善光寺、史跡北黄金貝塚公園、だて歴史文化ミュージアム、三階滝自然公園、北湯沢温泉郷(白絹の床)
- 【主な特産品】 伊達野菜、黄金豚(ブランド豚)、藍染め、キンキのいずし、アロニア、きのこ



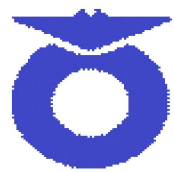
## 豊浦町 いい人 いいまち 明日を拓く

〒049-5416 虻田郡豊浦町字船見町10 電話:0142-83-2121 FAX:0142-83-2129 URL: <https://www.town.toyoura.hokkaido.jp/>

●町制施行 昭和22年7月1日 ●町長 杉谷 佳昭 (~R10.10.26①)

●人口 3,448人 (R7.4末現在) ●世帯数 2,024世帯 (R7.4末現在) ●面積 233.57km<sup>2</sup>

- 【市名の由来】 末永く豊かであってほしいという願いと、海の幸・山の幸が豊かで内浦湾に面することから名付けられた。
- 【概観・特色】 「噴火湾」と呼ばれる内浦湾に面し、対岸の秀峰駒ヶ岳や渡島連山の美しい姿が眺望できる。多種多様なキャンプ場を設置しており、海や森など自然の中での憩いを求め、毎年、多くのリピーターで賑わいを見せる。また、日本一の秘境駅と呼ばれる「JR小幌駅」には全国から鉄道ファンが訪れている。
- 【マチの自慢】 内浦湾におけるホタテ養殖発祥の地であり、道内有数の養豚の町でもある。また、温暖な気候に育まれた「豊浦いちご」は初夏の風物詩となっている。町内唯一の温泉である「天然豊浦温泉しおさい」は泉質の良さと浴場の広さが自慢です。
- 【主なイベント】 まるごと豊浦「北の収穫祭」(3月)、TOYOURA世界ホタテ釣り選手権大会(3月)、いちご豚肉まつり(6月)、
- 【主な観光地】 豊浦海浜公園、インディアン水車公園、噴火湾展望公園、カムイチャシ史蹟公園、日本一の秘境駅 JR小幌駅、岩屋洞窟、イコリ
- 【主な特産品】 豊浦いちご、ホタテ、豚肉、アサツキ



## 壮瞥町 夢・希望へチャレンジ 笑顔あふれる元気なまち そうべつ ～ふるさととは子どもたちへの贈り物～

〒052-0101 有珠郡壮瞥町字滝の町287-7 電話:0142-66-2121 FAX:0142-66-7001 URL: <https://www.town.sobetsu.lg.jp/>

●町制施行 昭和37年1月1日 ●町長 田鍋 敏也 (~R9.4.30②)

●人口 2,287人 (R7.4現在) ●世帯数 1,309世帯 (R7.4現在) ●面積 205.01km<sup>2</sup>

- 【市名の由来】 アイヌ語の「ソーベツ」(滝のある川)から転訛したもの。
- 【概観・特色】 北海道の南西部に位置し、町の中央を東西へ貫流する長流川流域では高級菜豆、くだものなど多くの農産物が生産され、また洞爺湖、有珠山、昭和新山、そして温泉など豊富な天然資源に恵まれた、農業と観光の町です。
- 【マチの自慢】 2009年8月、本町の全域を含む「洞爺湖有珠山ジオパーク」が、ユネスコ「世界ジオパーク」として日本第1号の認証を取得し、特有の景観、地質資源や火山遺構、温泉、大地のめぐみであるくだものや高級菜豆などの農作物などを生かしたまちづくり、観光地づくりを推進しています。また、「昭和新山国際雪合戦」は、雪に親しむニュースポーツとして年々話題を呼び、全国各地で予選大会が開催され、フィンランド、ノルウェー、スウェーデンなどの国外でも大会が開催されています。
- 【主なイベント】 昭和新山国際雪合戦(2月)、そうべつりんごまつり(10月)
- 【主な観光地】 洞爺湖、昭和新山、壮瞥公園、仲洞爺キャンプ場、くだもの村(観光果樹園)
- 【主な特産品】 くだもの(さくらんぼ、ぶどう、りんご他)、高級菜豆(大福豆等)、洞爺湖の露(りんごジュース)、壮瞥シールド